

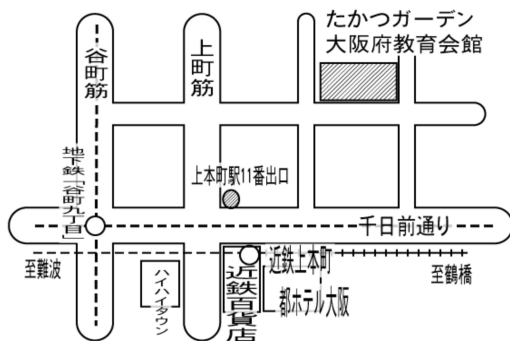
# 講演会 部落問題は「通説」を疑え

講師 **秦 重雄**さん（部落問題研究所文芸部会）

**9月6日（土）** 13時30分

大阪府教育会館 3 F カトレア 参加費500円

小説「特殊部落」は差別小説ではない。「結婚相手に出身を気にするか」その設問そのものが異常。ルーツ、出身の意識は「空虚な歴史的伝統」。現代は「それがどうしたの」という時代。「部落民」の継承はやめよう。文芸作品やメディアに対する秦さんのするどい指摘に学びましょう。



秦さんは部落問題にかかわる文芸作品の研究について日本の第一人者。右に出る人はいません。豊富な知識と確かな観点は知る人ぞ知る。現在は「部落問題文芸作品年表」の刊行に向けて準備中

著者のことば 「現在も部落差別が存在する」

「部落差別は形を変えて根強く存在している」という思い込みが、マスコミや教育行政で横行しています。しかし、私は、国民の間では部落内外を越えた自由な交流が進んでいて、部落問題は着実に解消過程をたどっていると考えます。どちらが21世紀の部落問題の事実に沿った意見なのか、考えていただきたいと思います

秦 重雄 著  
部落問題研究所刊  
600円



共催

大阪歴史教育者協議会

大阪はぐるま研究会

大阪教育文化センター「部落問題解決と教育」研究会

大阪市天王寺区東高津町7-11大阪府教育会館706号室 TEL 06-6768-5773

2025.8.1.